

地図で見る世界の 子どもたちのようす

国連子ども特別総会

から1年 どんな前進があったろう

2002年5月、ニューヨークでひらかれた「国連子ども特別総会」には、190カ国からさまざまな参加者およそ7000人（中には600人の子どももふくまれていました）が集まりました。熱気につつまれた話し合いの後、子どもたちのために世界がこれからすることを約束した文書「子どもにふさわしい世界」が全会一致で採択されて、参加者たちは、それぞれの国に帰っていききました。

それから1年。「子どもにふさわしい世界」では、各国が、2003年の終わりまでに期限や目標を定めた子どものための“国内行動計画”を、市民社会やNGO*、そして子どもたちと協力してつくるように決めています。たとえば、命を失う赤ちゃんや子どもの数が多い国では、その数や割合を、いつまでに、どれだけ減らすか目標を立てて、その実現のために何をするかという計画を細かにつくっていくのです。

* NGO：非政府組織。政府の機関や企業ではない、民間の団体。社会の問題を解決するためなどに活動する。

「子どもにふさわしい世界」のくわしい内容は、「ユニセフ子どもネットニュースNo.2」の特集記事を読んでください。

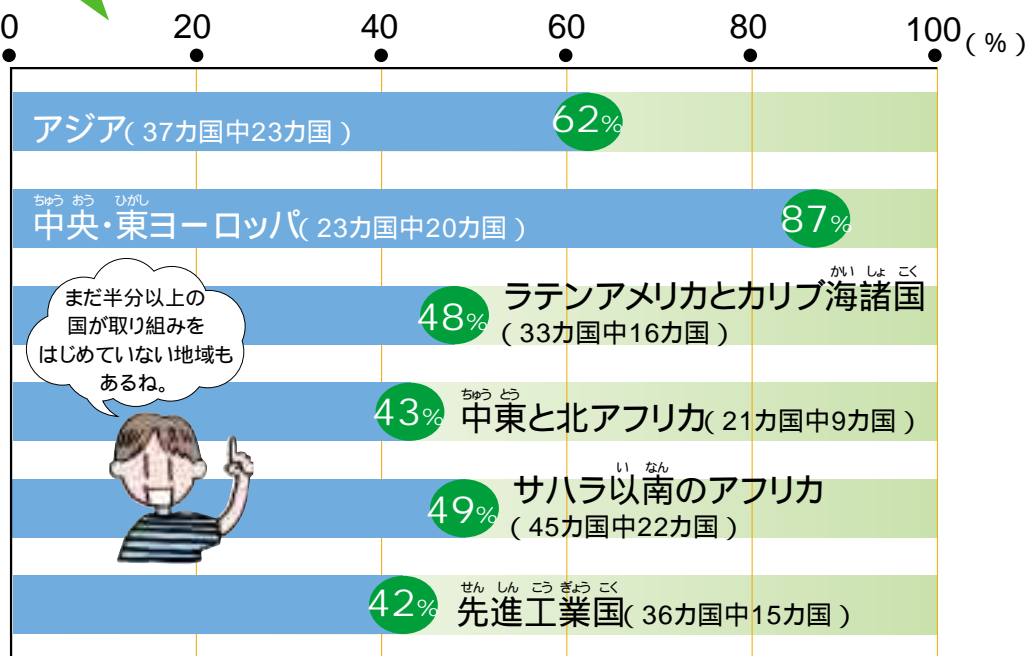
各国は総会の後、どのように取り組みをはじめているのでしょうか。そして日本は、今、どのような状況でしょうか？



2003年4月末までの状況

- 26カ国が子どものための新しい国内行動計画を作り終えたり、草案を完成させたりした
- 26カ国が、国内行動計画をつくる取り組みをはじめている
- 13カ国が、すでにある国内行動計画を見なおして新しくした
- 35カ国が、すでにある国の計画や政策の中に、国際的な取り組みを盛りこんだ
- 23カ国が、総会の取り決めにもとづいて行動するために、さまざまな機関と協力して子どものための委員会をつくったり、その役割を強めたりした

取り組みをはじめている国の割合を地域別に見ると...



カナダでは...

2002年8月に「国連子ども特別総会」に参加した子ども代表が、どのようにしたら子どもたちがフォローアップの中で意味のある参加ができるかを話し合いました。そして、人びとの意識を高めるために、子どもと若者からなる小グループが結成され、政府やNGOのおとなたちと一緒に活動することになりました。



ガンビアでは...

政府が、国内の子どもについてのデータを集める力や、それを分析して使っていくための力を強めるための取り組みをはじめています。子どもの問題を正確に知るために、これはとても大切なことです。政府は子どもについての国家的なデータベースをつくって、目標に対する進み具合などを見られるようにする予定です。

「子ども国会」の意見が とりいれられた！

【トルコ】



トルコの国会に子どもたちの声がひびきます。「戦争は人間が起こす災害です。子どもたちを直接的にも間接的にも傷つける、最悪のものです。わたしたちは、子どものコンピュータゲームやおもちゃに暴力をけしかけるものがあることを忘れてはなりません。子どもたちをそうしたものから守るように、一緒によびかけましょう」トルコでは、2002年から「子ども国会」がひらかれています。国内の81の地域からそれぞれ選ばれた9歳から

17歳の子ども議員55人が集まって議論をします。代表は選ばれてくまれています。

2003年4月20日から21日の2回子ども国会では、「子どもにふさわしい世界」の取り組みをつくらせたトルコの国内行動計画の進捗を付け加える作業を行いました。



「子ども国会」のあるウルファの議員によって選ばれた女の子の

世界の“国内行動計画”がつくられている国

フィンランドでは...
 関係するすべての政府の省庁とNGOの代表メンバーでつくられた新しい連合が、目標やそのための予算、どこが責任をもって実行するかまでを話し合っ、行動計画づくりをすることにしています。この計画には、国内の目標だけでなく、フィンランドが世界の子どもの状況をよくするために何をやるかまでふくまれる予定です。

- : 1998年から国内行動計画が存在している
- : 新しい国内行動計画がすでにできあがっている
- : 新しい国内行動計画の草案ができている
- : 国内行動計画をつくるために準備中
- : 国内行動計画をつくる意志はある
- : まだ、国内行動計画についての取り組みがない (報告がない)

「国連子ども特別総会」のフォローアップを...

- (開発) 国内開発計画の中でおこなっている
- (戦略) 貧困をへらすための戦略の中でおこなっている
- (地方自治体) 地方自治体レベルの行動計画の中でおこなっている
- (予算) 毎年の予算の中でおこなっている
- (機関) さまざまな機関の協力の中でおこなっている

総会のフォローアップ: 子どものための“国内行動計画”をつくることをはじめとして、総会で約束されたことを実現するための取り組みのこをさす。



カンボジアでは...
 すでにある国内の仕組みや行動計画の中で「国連子ども特別総会」のフォローアップをおこなうことを決めました。貧困を減らすための戦略や、教育や保健の計画に、「子どもにふさわしい世界」の内容が取り入れられ、より広い目標がもうけられました。

アフガニスタンでは...
 ユニセフとその他の機関が協力して、2002年には、290万人の子どもが学校にもどることができました。2003年にはおよそ400万人の子どもたちが学校で勉強できるように、活動がすすめられています。

ケニアでは...
 2003年1月に、政府が小学校を完全に無料化しました。この結果、小学校に通う子どもの数はぐんと増え、新学期には、新たに150万人の子どもが学校に出席しました。

そのほかにも...
 2002年には、50カ国が子どもの出生登録に、取り組むようになりました。レソトでは、親を失った子どもたち7万3000人が出生登録を受け、ベトナムでは、法律をととのえ、国民に広く知らせる活動をすすめたことから、出生登録の割合が72%から87%にまで上がりました。また、さまざまな予防接種キャンペーンが、広い地域で成功し、2001年以降8500万人以上の子どもがはしかの予防接種を受けました。この結果、2年間で12万人の子どもの命が守られたと推定されています。

この地図は国境などの法的地位についてユニセフの立場を示すものではありません。

"The United Nations Special Session on Children - A first anniversary report on follow up" UNICEF 2003年5月より

STORY

0人が、実際に国会議事堂に集まるには、障害のある子どもたちもふから2日間にわたってひらかれた第「国連子ども特別総会」で採択された「世界」にもとづいて、おとなたちが行動計画の草案に子どもたちの意見がおこなわれました。

会」の最後に、トルコの南東部に町からやってきた15歳の子どもは、発表された宣言では、とくに次のことについての子どもたちの意見が発表されました。

子への教育をすすめてください

戦争をみちびくような、暴力をけしかけるおもちゃなどから子どもを守って下さい

法律をおかしたり、おかしたとされた子どもたちが、ひどく扱われたりしないように、法律をととのえたり、関係するおとなたちのトレーニングが必要です

会議の中では、子どもたちはこんなことも話しています。

「わたしたちは、チャンスさえあれば、おとなの国会議員よりもずっとうまく国を治められるでしょう」

自信にあふれた子どもたちの意見は、トルコのおとなたちにもしっかりと受けとめられ、国内行動計画の中にとりいられることになっています。



日本の子どもの意見を大募集!

日本の国内行動計画について何かできないでしょうか?

日本では、「国連子ども特別総会」の後、何か前進があったでしょうか? 「子どもにふさわしい世界」の約束には、日本の子どもにも関係の深いものがたくさん含まれていました。もちろん、日本政府も国内行動計画をつくる予定です。

もし、みなさんが、この国内行動計画をつくることに参加できるとしたら、どのように参加したいですか? そして、どんな意見を言ってみたいですか?

みなさんの意見を送ってください。もしかすると、ユニセフ子どもネットとして何かできるかもしれません。ぜひ、いろいろな声を聞かせてください。

意見の送り先

ユニセフ子どもネット事務局
 郵便 : 〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12
 ファックス : 03-5789-2036
 電子メール : jcuinfo@unicef.or.jp

